

茨城県連 訪問 議事録

開催場所	ひたちなか商工会議所	日時：平成27年12月22日（火） 18:00 ~ 19:00	
議事録	作成人	日本商工会議所青年部	日本ネットワーク委員会 委員 神林
	署名人	日本商工会議所青年部	日本ネットワーク委員会 芦萱

次第

- ① 開会、次第、資料確認 ②出席者紹介（日本 YEG・連合会）③伴会長挨拶・日本 YEG についての説明 ④ 連合会の挨拶・連合会の事業等の説明 ⑤フリーディスカッション ⑥質疑応答 ⑦閉会

■伴会長挨拶

年末のお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。昨年仲田会長が全国を周りました。思いを繋いでいくために今年は県連を訪問させてもらっています。ここで41県連目。色んなお話を聞かせてほしい。全国で共有していきたい。各単会の事業をお伺いさせて頂きたい。こんな事業がメインだよと。こんなやり方をしているよなど。どんな団体とや親会、行政との絡み。予算だての問題など聞かせてください。

水戸：150名を超えました。卒業が45歳。1年の延長制度がある。ジュニエコがメイン。5月から12月。16チーム74名の子供が参加。納税という形で売上を寄付している。サマーフェスタで水戸黄門を。水戸マラソンを2012年からやっている。来年5回目。水戸光園漫遊マラソンという形で開催される。特別支援学校の子供達に仕事発見プロジェクトを開催。メンバーの会社に参加して貰っている。卒業例会を開催している。委員会ごとに勉強会も開催。

古河：85名。一度100名を超えた。11月に商工祭。YEGが中心となってやっている。企画、運営まで。会員店舗100店出店。2日間で3万人くる。35回目。地元の方々にはなじみの祭りになった。委員会のメンバーが仕事が出来なくなる。市からの補助もあるが市も行政の祭りがあるのでそんなに興味がない。積極的には支援ができないんですと言われる。大きくなったが事業予算も大きくなってきた。当日持出もある。親会からの支援もある。お金と人工が難しくなっている。渡すこともやめる事も出来ない。会員数も悩み。

石岡：47名。45歳が卒業。来年6人卒業。七夕祭り。先輩が立ち上げた。商工祭も。商店街に移行したので今はお手伝いという形になっている。3年前にブロック大会があったので移管した。9月に神社のお祭りがある。1市民として参加していたが、親会から話があり、スペースをもらってやってみようとおせんべいを売った。もともとのお祭りとの絡みも大事。ブロック大会の際の物産が良かったと言われたのでもう一回やろうとなっている。次年度の会長がやりたいと話をしている。

下館：商工祭がメイン。予算は親会。280万。市から100万。2日間運営。準備から設営、撤収までメンバーで。11月の最後の連休に開催。JCさん、地域にある2つの団体で合同のイベントもやっている。今年はおぶせ町からスラックラインという遊びを呼んで子供たちに体験させてプロの演技を見たりした。下館の名産を使ったカレーライスを作った。例会もやっている。下館を盛り上げられるかというアンケート方式で出して実際にやるにはどうすればいいか。どうすれば市にお金が落ちるかという例会をやった。一番人が来た。60%くらい。

結城：49名。5年前は20数名だった。大幅に拡大できた。県青連の会長を輩出してから。お祭りの設営がメイン。実行委員会、観光協会、行政、JCとやっている。研修事業も開催している。市民の皆さんに公開した講師例会。ここまで来た。もう少し市民の皆様と交流できるようになりたい。

ひたちなか：185名対外と対内事業がある。毎月例会は必ずやる。祭りが夏にある。実行委員長はYEGから出す。レゲエのイベントで1万人来場する。日本最大級のイベントになった。ベースになる例会をやっている。

伴：商工祭がYEG主体でやっている所が多いですね。宇都宮は親会が主体。YEGはブースだけ。予算的にはもらって決めているんですか？

古河：850万ある。決めてよい。出展料もある。親会からは何も言われぬ。実行委員会が形骸化している。最初と最後に会頭、市長もくるが全てYEGが決めている。一切何も言われぬ。

石岡：部分的ではある。

伴：事業で親会から、行政から補助金は他にありますか？補助金のもらい方を全国で聞いている。プレゼンをして予算を引っ張ってくる所もある。市ではなく県に行くケースも。行政の指定管理者になっている単会もある。販売をして予算を得ている所もある。行政と仲が悪い単会は？

古河：悪くはないが無視。邪魔はしてこないが協力はしてこない。協賛になっているが商工祭にも出てこない。職員の協力もない。

伴：市長と会頭は？

古河：良くはない。

伴：色々な関係がある。会議所と関係を持ちませんという所もある。親会と仲が悪い所は？意外とある。OBの会頭だと協力的だったりする。JC経験者が会頭になったら変わるなど。よくあるパターンです。日本として働きかけをしていきたい。YEGの意義や理解をお願いしたい。常議員に参加している。年に3回。こんな活動をしているんだと知らない会頭にも知ってもらえる機会がある。何かあれば言って頂きたい。関東は私もいますので代表理事を通してでも。色々な所で活動しやすい環境を作りたい。日商の三村会頭は非常にYEGを理解して頂いている。何かあれば私から言ってあげると言ってくれた。専務も変わって話をしたらこんなにやっているんですねと言われた。常務も変わって会長研修会に来た。1、2分科会を見て関係が出来た。国会議員もそう。自民党の青年局と交流を持っている。メンバー数を伺いましたが増える傾向ですが茨城県連さんはどうですか？減っている所は？

なし

石岡：ブロック大会の時に47だったが戻した。その影響はある。

水戸：25年度に50人増えた。

伴：増えてから維持するのが大変。

結城：今まで熱が低かった。スターが登場して変わった。人を連れてくれるような体制になった。JCは24名今年減っていると聞いた。小さい街なので知り合いが多い。会社も減っている。危機感を持っている。

伴：まちの規模だけではないなと思う。5万人の人口で100人いる単会もある。声かけの範囲でもある。千葉の木更津は35歳まで。サラリーマンが多い。ひたちなかもメンバーの大半が創業と聞いた。

ひたちなか：半分くらいですかね。

伴：日本に対しての要望などありませんか？

古河：個人的にだが、人数を求めている感じがする。中身とか質とか参加率などにフォーカスが当たってないのではないか。参加がメインになっていないか。大津の大会は印象に残っている。その時の感動が薄れてきている。

伴：日本がというより、慣れてきている部分もありますか。しつらえが進んでいないものもある。方向性が変わっているわけではない。最初に行った全国大会は強烈だったりする。それは間違いない。その分だけ、なれた分だけ新しい試みは実はやっている。沖縄、京都では日程を変えた。こうしたらわかってくれるんじゃないかという努力やしつらえをしている。宇都宮でも分科会の参加率を大事にした。登録は一杯だが当日は50%くらいになる。宇都宮は95%。主管する各単会が参加者に電話を当日までした。実質的な参加率。大会としてどうしても変えられない部分もあるが新しい試みもある。登録人数はそんなに気にはしていない。今年ブロック大会の連絡会議があった。昨年はどこも更新した。近畿も2000人を超えた。今年はどうなんだろうねという意見があった。会長としてこだわっていないという話をした。一生懸命やっていたらそれでいいじゃないですかと。思いをもっと共有しようよと来てほしいと思う。会長会議でも時間をもらって会長研修会と全国大会の話をした。資料をつくって説明してそれで来てほしい。若いメンバー。初めてのメンバーにも感じて貰いたい。

古河：誘うときに感動したことを共有したい。大丈夫かなと思ってしまう。今日は関東ブロックの会長も来ている。お礼の時間を。

川口：35回ブロック大会日光大会2114名参加頂きました。人数ではないという事で1800名予定だった。予算の問題もあり2000人来ないととなった。関東の皆様、茨城県連の皆様のおかげです。ありがとうございました。

片山：日光大会では茨城県連さんのおかげで無事に終える事が出来ました。日光の良さを知ってほしい一心でした。またこれからも交流をさせてください。ありがとうございました。

伴：単会さんで色んな大会をやってほしい。次は？

県連会長：まだ次は決まっていません。30年にブロック大会があります。

伴：やりたいところは多い方が良く。色んな意見がある。全国も。誰が取ってきたんだよと当日までみんな言う。石岡さんもそうだと思う。終わってからそういう人はいない。大会作ってしまうのもあります。会う機会。繋がる機会になる。お声がけもしてもらえれば。色んな形がある。こういう事をやってくれなどありませんか？親会を使ってなど。前橋では昨年事務局が70人の参加だった。イントラネットという配信をしたら170人の参加になった。単会会長さんが親会のメンバーでないのは？

3 単会：

伴：何年か前から親会の構成メンバーにするように日商から通達がいっている。また改めて日商から出したいなと思っています。要望ご意見があれば。

ひたちなか：2年出向して思った。広報の発信が弱いのかなと思います。告知と報告が弱い。告知があつて仲間に行こうよとなった時に見てごらんが出来ない。スケジュールも分かり辛い。HPの改造の部分なのか。たまに見る人は分かりづらいのでは。報告がいっぱい写真も取っているのだから出してもらえると。関東はこうだとか北陸がこうしているなどわかると良い。関東だけのイメージになる。

伴：広報にはお願いはしているが進まないのが現状。この数年では見比べて貰いたい。親会の広報誌石垣ではYEGで2Pもらっている。多くの単会の事業を載せたいと思おう。ブロック大会は1回で終わりにした。数ヶ月かけて今までは掲載していた。YEG大賞の募集もしている。公開もしている。見てほしい。あそこの単会こんなことやっているんだと。ジュニエコも会津若松から発信されて大きくなった。まだまだ足りない部分ではある。すこしずつ変えてきている。代表理事の立ち位置も大事。県連に発信をしていってほしい。その時の道具をあげたい。全てがATで配信しても浸透しない。本当は毎月単会に郵送したかった。予算がないので出来ないが。この努力は続けていきたい。意見も欲しい。期待に沿えていないのでこれからもやっていきたい。もう時間になってしまいましたが。全国でYEG盛り上がってきているなど感じる。青年団体で増えているのはYEGだけ。求められていると。やっていることの費用対効果が高いのかと。

水戸：卒業は45が平均ですか？

伴：規約はない。各単会が決める事。単会の連合会なので。宮津が60周年になる。日本はまだ30数年。各地の都合がある。統一はしない。商工会は45で統一しました。今は45から上げている傾向。今は45以上が多数ですね。平均でいうと45は超えている。県連が全部50という所もあった。北大阪は55から50にした。55は全国で3単会かな。茨城さんは45歳がほとんど。これは珍しい。宇都宮は49。流れもある。年齢は上げてもいいし下げてもいい。それが単会や地域、企業のためになるのであれば。また懇親会の席でも話をさせてください。今日はありがとうございました。

川島：遅参申し訳ありませんでした。さいたまの役員会に行つてまいりました。静岡はいけませんでした。今日はここで失礼しますが。先日結城さんに伺いました。茨城県連さんには日ごろ大変お世話になっています。仲間なのでよい関係でありたい。開かれた関係。懇親会ではそういった交流をお願いします。

伴：今日は宿泊しますのでよろしく申し上げます。ありがとうございました。

